

以上で視聴されていたことが確認されました。医療機関の相互理解も深まり、行政と医療機関の連携もさらに深まったと実感されました。

最後に、本学術集会開催にあたり、ご支援とご協力をいただき関係各位の皆様にご心より感謝申し上げます。

第20回千葉支部学術集会

学術集会会長：千葉県がんセンター副病院長 浜野公明

2022年3月5日(土)、「医療の質改善・業務の質改善」をテーマに日本医療マネジメント学会第20回千葉支部学術集会を開催いたしました。



会場風景

特別講演では、東邦大学の長谷川 友紀先生より「医療の質改善・業務の質改善」と題し、ご講演いただきました。一般演題は、診療・ケアの質改善に関する3演題、業務の質改善に関する4演題の発表がありました。シンポジウムでは、「がん診療の質改善活動」をテーマに4名の演者に各施設での取り組みをご発表いただきました。その他、千葉大学の堺田 恵美子先生より「医師キャリア支援センターの取り組み」をご紹介いただきました。

新型コロナウイルスの影響で、会場開催とWeb開催のハイブリッド形式での開催となりましたが、会場参加46名、Web参加77名のご参加をいただき、盛会のうちに終了しました。

最後に、開催にあたりご協力いただきました関係各位の皆様にご心より感謝申し上げます。

第21回神奈川県支部学術集会

学術集会会長：医療法人社団明芳会横浜旭中央総合病院 病院長 山中太郎

2022年3月12日(土)に神奈川県横浜市の神奈川県立かながわ労働プラザを会場として開催しました。

2年以上にわたる新感染症の混沌によって、社会の様々なものが変化しました。

医療の分野においても、これまでの常識や当たり前が、掌を反すような変化を求められました。

そこで今回のテーマを「社会の変化を医療の進化に

～求められる医療の提供～」として実施しました。

一般口演では65演題、新型コロナウイルス感染症関連、医療安全、病院経営、人材育成などのテーマで発表された。

特別講演では、横浜市立市民病院名誉病院長 石原 淳先生による「VUCA時代に於ける病院職員の意識改革」と題したご講演を頂きました。

最後に、本学術集会開催にあたり、ご参加いただいた皆様、ご支援とご協力を頂きました関係各位の皆様にご心より感謝申し上げます。



会場風景

第21回長崎支部学術集会

学術集会会長：佐世保市総合医療センター副病院長 中村昭博

「気持ちをひとつに、withコロナ時代の多職種連携」をテーマに、第21回長崎支部学術集会を2022年3月12日(土)に開催しました。

新型コロナウイルス感染症の影響により1年延期し、今年は、感染拡大防止の観点から特別講演3講演をWeb形式で配信し、一般演題は誌上での開催となりました。Web配信は、約100名の方にご視聴をいただきました。

「withコロナ時代の多職種連携」をテーマに長崎大学教授地域包括ケア教育センター長の永田康浩先生、「COVID-19収束に向けた今後の課題」をテーマに佐世保市総合医療センター感染制御部長 福田雄一先生、「佐世保市総合医療センターにおける医療安全管理室の歩み」をテーマに佐世保市総合医療センター古田 美佐子ジェネラルリスクマネジャーから講演いただきました。一般演題は「地域連携」「多職種連携」「医療安全・医療の質と効率化・人材育成」「新たな取り組み」の4セクションに22題が寄せられました。

本学術集会を開催するにあたり、ご支援とご協力いただきました関係各位の皆さまにご心より感謝申し上げます、報告といたします。

支部学術集会開催案内

— 第13回岩手県支部学術集会 —

学術集会会長 岩手県立磐井病院院長 佐藤 耕一郎